

2025年度(令和7年度)

高齢者帯状疱疹予防接種

対象者には、6月頃に個別通知をします。

※予防接種を受けるときは、医療機関に個別通知(予防接種済証兼接種歴管理票)を持って行く必要があります。

この予防接種は、帯状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。体調が良いときに、早めの接種をご検討ください。

期 間

2026年(令和8年)3月31日(月)まで

実施場所

福山市内の実施協力医療機関

対 象 者

- ・今年度65歳になる人
- ・60～64歳の人であって、ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障がいがあり、日常生活がほとんど不可能な人
(※接種を希望する人は、保健予防課に連絡してください)
- ・今年度70、75、80、85、90、95、100歳になる人
- ・100歳以上の人



個人負担金

- ・乾燥弱毒生ワクチン(1回接種)・・・3,100円
- ・乾燥組換え帯状疱疹ワクチン(2回接種)
・・・1回につき7,800円(合計15,600円)

次のいずれかに該当する人は、**個人負担金が免除**になります。

接種を受ける前に、次の証明書を医療機関に提示してください。接種後に提示しても個人負担金の免除はできません。

個人負担金免除の対象者	必要となる書類(証明書) ※いずれか一つ
市民税非課税世帯の世帯員	① 介護保険料決定通知書または特別徴収額決定通知書 ② 後期高齢者医療限度額適用・標準負担額減額認定証 ③ 市民税非課税世帯の証明書(医療機関用)
中国残留邦人等の支援給付受給者	④ 写真付きの本人確認証
生活保護受給者	⑤ 休日・夜間等受診票

予防接種は、住民票のある市町村で受けるのが原則です。やむをえず福山市外で接種する場合は「予防接種券(広島県内で接種する場合)」または「依頼書(広島県外で接種する場合)」が必要です。必ず接種前に[問合せ先]へご相談ください。なお、広島県外で接種する場合は、一旦全額個人負担で受けた後、一定の額を上限に払戻しをする制度があります。詳しくは、保健予防課へ問い合わせください。

問 合 せ 先

保健予防課 TEL:928-1127 松永保健福祉課 TEL:930-0414 北部保健福祉課 TEL:976-1231
東部保健福祉課 TEL:940-2567 神辺保健福祉課 TEL:962-5055

接種を実施している医療機関の一覧など、詳しくは福山市ホームページを確認してください。



2025年度（令和7年度）の対象者は、次のとおりです。

年齢	対象の生年月日
65歳	1960年(昭和35年)4月2日生～1961年(昭和36年)4月1日生の人
70歳	1955年(昭和30年)4月2日生～1956年(昭和31年)4月1日生の人
75歳	1950年(昭和25年)4月2日生～1951年(昭和26年)4月1日生の人
80歳	1945年(昭和20年)4月2日生～1946年(昭和21年)4月1日生の人
85歳	1940年(昭和15年)4月2日生～1941年(昭和16年)4月1日生の人
90歳	1935年(昭和10年)4月2日生～1936年(昭和11年)4月1日生の人
95歳	1930年(昭和5年)4月2日生～1931年(昭和6年)4月1日生の人
100歳	1925年(大正14年)4月2日生～1926年(大正15年)4月1日生の人
100歳以上	1925年(大正14年)4月1日以前の生まれの人

带状疱疹ワクチンは2種類あります。

带状疱疹ワクチンには、乾燥弱毒生水痘ワクチン（生ワクチン）と乾燥組換え带状疱疹ワクチン（組換えワクチン）の2種類があり、どちらか1種類を選択して接種します。ワクチンの種類により接種方法や効果などの特徴が異なりますが、いずれのワクチンも带状疱疹やその合併症に対する予防効果が認められています。

特徴

	生ワクチン	組換えワクチン
接種方法	皮下に接種	筋肉内に接種
接種回数と間隔	1回	2回（2か月以上の間隔をあける）※
接種条件	病気や治療によって免疫が低下している人は接種できません。	免疫の状態に関わらず接種可能

※病気や治療により免疫の機能が低下している人などは、医師が必要と判断した場合接種間隔を1か月まで短縮できます。

予防効果

	生ワクチン	組換えワクチン
接種後1年時点	6割程度	9割以上
接種後5年時点	4割程度	9割程度
接種後10年時点	—	7割程度

带状疱疹後神経痛に対するワクチンの効果は、接種後3年時点で、生ワクチンは6割程度、組換えワクチンは9割以上と報告されています。

安全性

主な副反応の発現割合	生ワクチン	組換えワクチン
70%以上	—	疼痛（※）
30%以上	発赤（※）	発赤（※）、筋肉痛、疲労
10%以上	そう痒感（※）、熱感（※）、腫脹（※）、疼痛（※）、硬結（※）	頭痛、腫脹（※）、悪寒、発熱、胃腸症状
1%以上	発疹、倦怠感	そう痒感（※）、倦怠感、その他の疼痛

- ・（※）は、ワクチンを接種した部位の症状です。
- ・頻度は不明ですが、生ワクチンについてはアナフィラキシー、血小板減少性紫斑病、無菌性髄膜炎が、組換えワクチンについてはショック、アナフィラキシーがみられることがあります。